

飯能日高  
公式LINE

埼玉土建

加入していて良かった  
た埼玉土建  
NEW動画配信中

# 飯能日高

発行所  
埼玉県飯能市原町142-5  
埼玉土建一般労働組合  
飯能日高支部  
発行人 教宣部長 岩間 靖友  
Tel 042-974-0330  
Fax 042-971-3287  
E-mail hannouhidaka@saitama-doken.or.jp

## 防災協定で地域に安全と安心を

組合の力を貸してほしい  
飯能市と防災協定調印式  
8月の副市長懇談から  
一気に締結へ



## 調印式をテレビで放映 埼玉土建も紹介



写真は金子敏江飯能市議より提供

調印式の様子が伺えます

調印式後に、11月10日あたりから飯能ケーブルテレビで調印式の様子と埼玉土建一般労働組合の紹介も放映され、支部内ではあまり見ることがない、緊張している柳戸支部長の姿が映し出されていました。また、飯能市役所のホームページでも調印式の写真が掲載されています。

**緊張で手が震えた**  
11月1日（金）飯能市役所で「防災協定調印式」が行われ、飯能市役所からは新井重治市長と町田昇危機管理監が参加、飯能日高支部からは、柳戸浩幸支部長と秋郷博美書記長が参加しました。また、地元の飯能日高ケーブルテレビ局のカメラマンと、文化新聞の記者が同席し、調印式の様子を取材しました。この調印式は、8月に行われた自治体懇談の中で、項目の一つとして防災協定締結について要望したところ、担当課が前向きに反応してくれた副市長や心のためにはじめに様々な要望

この調印式は、8月に行われた自治体懇談の中で、項目の一つとして防災協定締結について要望したところ、担当課が前向きに反応してくれた副市長や心のためにはじめに様々な要望

この調印式は、8月に行われた自治体懇談の中で、項目の一つとして防災協定締結について要望したところ、担当課が前向きに反応してくれた副市長や心のためにはじめに様々な要望

清流

この間、若年層や中間層からのテレビや新聞離れが一段と多くなった。その原因はやはり「眞実を伝えたい」ということだろう。なぜマスコミは眞実を伝えられないのだから。それは株主にかけない組合の力を貸す豪雨災害では、機動力のある建設業の力が欠かせない組合の力を貸してほしい」と述べ、調印式では、緊張のあまり名前を書く手が震えたと話してくれた柳戸支部長は「今回の協定で、市民に安心してもらえるのではないか」と思いました。この締結をステップに、飯能市との良好な関係のもとに、地域の発展や住民の安全・安心のために様々な要望を市に伝えていきます。

この調印式は、8月に行われた自治体懇談の中で、項目の一つとして防災協定締結について要望したところ、担当課が前向きに反応してくれた副市長や心のためにはじめに様々な要望

この調印式は、8月に行われた自治体懇談の中で、項目の一つとして防災協定締結について要望したところ、担当課が前向きに反応してくれた副市長や心のためにはじめに様々な要望

## - 28万円確保の運動を -



### 予算要求要請ハガキ

10月と11月にかけて国から国保組合への補助金を獲得する目標に「予算要求ハガキ」を取り組み、飯能日高支部だけでも2721枚が集まりました。

国からの補助金は、毎年一世帯あたり年間28万円の補助を勝ち取っています。この補助金があるから

こそ、現在の埼玉土建の国保料が維持されています。この国からの補助金が減額されると、埼玉土建の国保料が引上がるのには必ずとなります。

このハガキは全建連加盟団体の全て

の建設国保で取り組んでおり、全国から郵送されるハガキの総数は約124万枚

となります。一人3枚になります。

11月21日（木）12時半から日比谷野外大音楽堂で「賃金・単価引き上げ・予算要求中央総決起大会」が行われ全体会で1918人、埼玉土建からは199人、飯能日高支部から丸山一男（原市場）、吉沢正夫さん（高麗川）が参加しました。

決起集会では冒頭、「この大会は、民意の反映と私たちの要求を結合し、建設従事者の

担当手確保、建設国保の育成強化を実現するため重要。また、先の

国会で持続可能な建設産業を求める請願署名が採択された。実効性

確保には予算確保が不

可欠だ」と主催者の全県総連鈴木貴雄委員長の挨拶がありました。

また、与野党の衆参立憲民主党を代表し、

枝野幸男氏は「大事な仕事を担う皆さんのお

得が増えていかなければ、地域の経済は回ら

ないし後継者を育てて

いくこともできない。

日々の仕事と生活の安定を守るために建設国

保をさらに大きく力強く

いものに育てていかな

ければならない」と挨拶し、日本共産党から

は、山添拓氏が「建設

労働者が、被災地の生

活再建を支える仕事を

担ってきた。待遇改善、

担当手確保、建設国保

の拡充は欠かせない。

大幅な賃上げと、最低賃金1500円、大企

業に応分の負担を求め

よう」と訴えました。

各団体が決意表明を行いました。

参加した吉沢さんは、「全体の参加者がいつもより少なかった。

保険証の問題が、思つたより浸透していない

ので、不安な仲間が多い」と感じた」とマイナ保険証解除運動の重

要性が語られました。

## 予算要求中央総決起大会



支部旗を持ち元気にデモ行進

### 問い合わせ 建設国保の育成強化 建設国保の育成強化

#### 問い合わせ 建設国保の育成強化

### 問い合わせ 建設国保の育成強化

11月21日（木）12時半から日比谷野外大音楽堂で「賃金・単価引き上げ・予算要求中央総決起大会」が行われ全体会で1918人、埼玉土建からは199人、飯能日高支部から丸山一男（原市場）、吉沢正夫さん（高麗川）が参加しました。

決起集会では冒頭、「この大会は、民意の反映と私たちの要求を結合し、建設従事者の担当手確保、建設国保の育成強化を実現するため重要。また、先の国会で持続可能な建設産業を求める請願署名が採択された。実効性

確保には予算確保が不可欠だ」と主催者の全県総連鈴木貴雄委員長の挨拶がありました。

また、与野党の衆参立憲民主党を代表し、

枝野幸男氏は「大事な

仕事を担う皆さんのお

得が増えていかなければ、地域の経済は回ら

ないし後継者を育てて

いくこともできない。

日々の仕事と生活の安

定を守るために建設国

保をさらに大きく力強

いものに育てていかな

ければならない」と挨拶し、日本共産党から

は、山添拓氏が「建設

労働者が、被災地の生

活再建を支える仕事を

担ってきた。待遇改善、

担当手確保、建設国保

の拡充は欠かせない。

大幅な賃上げと、最低賃金1500円、大企

業に応分の負担を求め

よう」と訴えました。

各団体が決意表明を行いました。

参加した吉沢さんは、「全体の参加者がいつもより少なかった。

保険証の問題が、思つたより浸透していない

ので、不安な仲間が多い」とマイナ保険証解除運動の重

要性が語られました。

# 所学得習会

2025. 1.29 WED 19:00~

埼玉土建飯能日高支部主催  
講師：菊池宏道  
飯能市民会館202

資料代1人 500円

## 次は支部の行事を企画したい

第一回西南CUPと銘を打ち行われた大会は、全員の平均タイムを出し、同じ様なタイムの5人を4つのグループに分けて競い合い、グループ1位を決めました。鈴木部長は2位という嬉しい結果となり、「他支部との交流は楽しい。次は支部の行事を企画したい」と新しく力強い意気込みが語られました。

### 青年部西南地域別行事 第1回 西南CUP ゴーカート大会

第一回西南CUPと銘を打ち行われた大会は、全員の平均タイムを出し、同じ様なタイムの5人を4つのグループに分けて競い合い、グループ1位を決めました。鈴木部長は2位という嬉しい結果となり、「他支部との交流は楽しい。次は支部の行事を企画したい」と新しく力強い意気込みが語られました。



走り屋になった気持ちで爆走！



